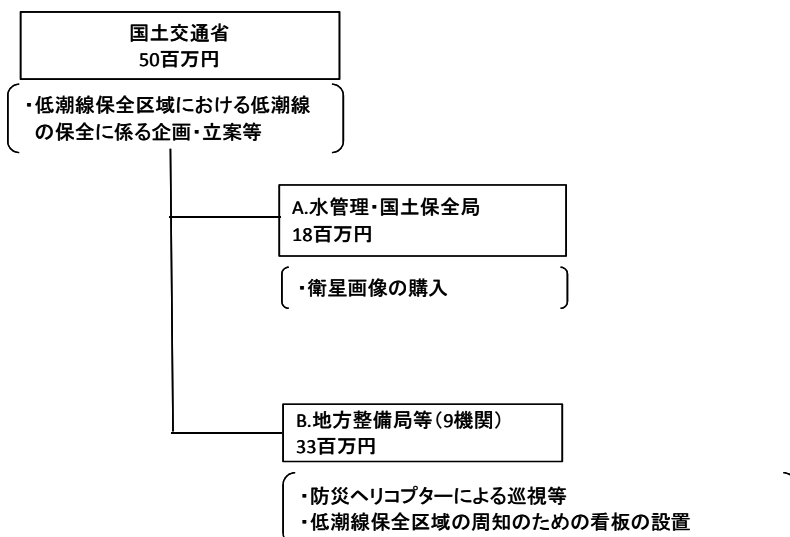


平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	低潮線の保全に要する経費		担当部局庁	水管理・国土保全局砂防部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	H23～		担当課室	保全課海岸室		五道 仁実	
会計区分	一般会計		政策・施策名	2 良好な生活環境、自然環境の形成、バリアフリー社会の実現 4 海洋・沿岸域環境や港湾空間の保全・再生・形成、海洋廃棄物処理、海洋汚染防止を推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	排他的経済水域及び大陸棚の保全及び利用の促進のための低潮線の保全及び拠点施設の整備等に関する法律(平成二十二年法律第四十一号)第四条		関係する計画、通知等	排他的経済水域及び大陸棚の保全及び利用の促進のための低潮線の保全及び拠点施設の整備等に関する基本計画(平成二十二年七月十三日閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「排他的経済水域及び大陸棚の保全及び利用の促進のための低潮線の保全及び拠点施設の整備等に関する法律(低潮線保全法)」に基づき、我が国の排他的経済水域及び大陸棚の保持を図るため、排他的経済水域及び大陸棚に係る海域の限界を画する基礎となる低潮線を保全することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	衛星画像による低潮線保全区域及びその周辺の状況調査、防災ヘリコプターによる低潮線及びその周辺の巡視、低潮線保全区域の周知のための看板設置を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算	—	55	55	55	55
		繰越し等	—	—	—	—	—
		計	—	55	55	55	—
	執行額	—	—	54	50	—	—
	執行率(%)	—	—	98%	92%	—	—
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	低潮線及びその周辺の状況調査(巡視等)区域数		成果実績		177/177区域	177/177区域	
			達成度	%		100%	100%
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	低潮線及びその周辺の状況調査(巡視等)区域数		活動実績(当初見込み)		177/177区域	177/177区域	—
					() () ()		
単位当たりコスト	0.3(百万円/区域数)		算出根拠	(実績額 50,354百万円)/(177区域)			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	海岸環境対策調査費	55	55				
	計	55	55				

事業所管部局による点検					
	項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	我が国の国益(海洋権益・資源)の確保の観点からニーズがあり、非常に優先度が高い。また、排他的経済水域の基点は国境付近の離島を中心に全国各地に多数存在している。以上のことから国が統一的に実施する必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○			
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	一般競争入札により支出先を選定しており、競争性は確保されている。		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。	-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-			
事業の有効性	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	平成24年度は所管する全ての低潮線保全区域について巡視又は調査を実施しており、実効性が高く、見込み通りに成果目標を達成している。また、得られた情報は十分に活用されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-			
重複排除	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	平成24年度は所管する全ての低潮線保全区域について巡視又は調査を実施しており、実効性が高く、見込み通りに成果目標を達成している。また、得られた情報は十分に活用されている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○			
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-			
重複排除	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	上記の観点から点検した結果、課題はない。				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業内容の改善	関係機関と巡視計画、巡視結果等を共有することで、効率的に確認を行う等の改善が見られるが、引き続きより一層の連携を図るよう改善する。				
	所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
執行等改善	低潮線保全区域の状況変化をより確実かつ効率的に確認等できるよう、関係機関との連携をさらに深める。				
	備考				
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	-	平成23年	新23-1009	平成24年	0196

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.国際航業(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	衛星画像の購入	18			
計		18	計		0
B.北海道開発局			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	防災ヘリコプターによる巡視等	5			
調査費	看板の設置	3			
計		8	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際航業株式会社	衛星画像の購入	18	3	60
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	北海道開発局	防災ヘリコプターによる巡視、看板の設置	8		
2	九州地方整備局	防災ヘリコプターによる巡視、看板の設置	7		
3	沖縄総合事務局	防災ヘリコプターによる巡視、看板の設置	7		
4	関東地方整備局	防災ヘリコプターによる巡視	3		
5	東北地方整備局	防災ヘリコプターによる巡視、看板の設置	3		
6	北陸地方整備局	防災ヘリコプターによる巡視	1		
7	中国地方整備局	防災ヘリコプターによる巡視	1		
8	四国地方整備局	防災ヘリコプターによる巡視	1		
9	近畿地方整備局	防災ヘリコプターによる巡視	1		
10					

(※小数点以下四捨五入のため合計数字が一致しない場合がある)